



朝一小だより

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



活気があふれ、心が潤い、一人一人がより良く生きる学校

Tel.048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

朝霞市立朝霞第一小学校
令和6年12月24日
児童数 590名



今年も本当にお世話になりました

校長 金子 二郎

本日、2学期の終業式を迎えました。令和6年も間もなく幕を下ろします。今年も保護者や地域の皆様のおかげで、数えきれないほどたくさんの素敵な児童の笑顔を見ることができました。心から感謝申し上げます。今年はこれまで以上に多くの方に本校へお運びいただき、子供たちのためにお力添えいただくことができました。厳しい感染症対策に制限されることもなくなったこともあり、1月の開校150周年



記念式典をはじめ様々な学校行事で子供たちの活躍をご覧いただくことができました。それだけでなくこの一年は、実際に多くの場面でお力をお借りする機会が増えました。プール清掃や環境美化、ミシン学習や図工の作業、町たんけんの引率や懇談会当日の児童待機対応をはじめ、枚挙に暇がありません。新たに企画していただいた11月の父母と先生の会イベントでは、職員も楽しい時間を過ごすことができました。

また先日は実行委員会の皆様と株式会社平野製作所、株式会社リゾン様のご厚意により、ずっと子供たちを見守ってきた旧学校旗を校長室前に掲額していただきました。時代を越えて多くの手で健やかな子供を育てていこうというご厚情の歴史を改めて実感しました。新たな膝折学校を目指すためにも本当に心強い限りです。



さて、振り返ると社会では能登半島沖地震、南海トラフ地震臨時情報、夏の平均



気温過去最高タイと災害や気候等で憂慮される報道が続きました。海外でも軍事侵攻や政治的な対立の激化など、子供たちの未来を考えると不安な出来事が少なくありませんでした。子供たちが夢を見続けることができるよう、大人が今以上に頑張らなければならないのかもしれないかもしれません。本校の図書室にジェームズ・サーバー作の「世界で最後の花」という絵本があります。人類が戦争により自らの手で街も文明

も繰り返して破壊し尽くす中で、最後は一筋の希望の光を見出すことのできるお話です。翻訳した村上春樹のあとがきにある通り、これが第二次世界大戦勃発の1939年に刊行されたことは大きな意味を持ちます。来年は太平洋戦争終結後80年となり、戦後という言葉が死語になりつつあるとも感じますが、本校の図書館サポートスタッフによると、この絵本を手にとって読んでいる子供たちが少なくないとのことです。一小で学んだ子供たちが明るい未来を担ってくれると思うと頼もしい限りです。新年が子供たちにとっても皆様にとっても笑顔で毎日を過ごすことのできる素晴らしい年となることを心から願っています。



うはい合えば足らぬ 分け合えばあまる うはい合えばあらい 分け合えばやすらぎ うはい合えばくしみ 分け合えばよる
 び うはい合えば不満 分け合えば感謝 うはい合えば戦争 分け合えば平和 うはい合えば地獄 分け合えば極楽 (細 みつ)